

令和6年 第8回全員協議会会議録

令和6年3月15日 議員控室

○事 件

町長報告事項

(1) 新庁舎建設事業について（総務課）

○出席議員（13名）

議長 千 葉 隆 君
赤 井 睦 美 君
横 田 喜世志 君
関 口 正 博 君
倉 地 清 子 君
安 藤 辰 行 君
能登谷 正 人 君

副議長 黒 島 竹 満 君
佐 藤 智 子 君
大久保 建 一 君
宮 本 雅 晴 君
三 澤 公 雄 君
斎 藤 實 君

○欠席議員（1名）

牧 野 仁 君

○出席説明員（7名）

町長 岩 村 克 詔 君
総務課長 竹 内 友 身 君
総務課長補佐 相 木 英 典 君
二本柳設計事務所

副町長 成 田 耕 治 君
財務課長 川 崎 芳 則 君
庶務交通主幹 吉 田 正 樹 君

○出席事務局職員

事務局長 三 澤 聡 君
庶務係長 菊 地 恵梨花 君

事務局次長 成 田 真 介 君

◎ 開会・議長挨拶

- 議長（千葉 隆君） それでは令和6年第8回の全員協議会を開催いたします。
本会議開会中ですので、議長挨拶は割愛をしまして、早速、町長報告事項を議題といたします。

◎ 町長報告事項

- 議長（千葉 隆君） それでは、新庁舎建設事業についてご説明、ご報告をよろしくお願いたします。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 本会議休会して全員協議会を開いていただきましてありがとうございます。

今回ですね、実施設計の中で議員の皆さんに実施設計で変更できるものは変更するというのを伝えていましたので、私も住民説明会、さらに議員の皆さんの意見、そして今回私も忘年会や新年会で町民の意見等々を聞きながら、この工法がいいだろうということで設計屋さんの案が出たので、皆さんに説明して進めて行きたいと思っています。

特に私が今まで住民の皆さんや議員の皆さんに意見をいただいたのは、やはり建設コストが高くなるということが一番だと思います。特にこのデザインが素晴らしいということで、それともう一つは、管理コストが高くなるんじゃないかということ、さらに公民館の利用者の方々から公民館が狭いんじゃないのかっていうような大きく分けるとこの三つくらいの意見が出されたので、特に、私は設計屋さんのほうに、住民に広報等で示したデザイン、さらにその予算を超えることなく実施設計を組んでくださいということでした。

皆さんご存知のとおり、今本当に人件費の高騰、さらに長期金利も上がっていく、さらに皆さんとバブルを超えた株価がバブルを超えてきたということで、多分これから先ですね、インフレになるだろうということは、建築コストも上がるだろうということは想定されました。

それをなんとかこのプロポーザルのデザイン、さらに計画設計で議員の皆さんや町民に示したデザインをあまり変えることがなく考えてほしいということを伝えた結果、今回、このデザインで今後大きく変えることなく組んだほうがいいだろうということで提案されましたので、詳しくはですね、担当課より説明させますので、よろしくお願いたします。

○庶務交通主幹（吉田正樹君） 議長、庶務交通主幹。

○議長（千葉 隆君） 庶務交通主幹。

○庶務交通主幹（吉田正樹君） おはようございます。

それでは新庁舎建設事業について私のほうから説明させていただきます。

町長から前段お話がありましたように、令和5年6月に作成しました新庁舎の基本設計を基に、9月から実施設計に取り掛かっておりましたが、設計会社と協議を進めてまいりまして、人件費や原材料費の高騰などもありまして、建物の建設費用も上昇傾向にあることから、建設費を当初の目標額内に収めるための様々な検討を行ってきました。費用及び維持管理費の軽減を図るための新たな提案ということで、今回のデザインで進めて行きたいと考えていますので、よろしくお願いたします。

また、各室の間取り等確定作業を行う中で、公民館利用団体との意見交換や要望事項を聴き取りしながら、利用者の利便性の向上にむけて、どのように反映させるかを検討してきましたが、その内容がまとまりましたので、設計内容の一部を変更することとして、今回修正点について報告させていただきます。

別冊でお配りしております、庁舎の設計変更案について説明させていただきますので、資料を1枚めくっていただきまして裏面の2ページをお開き願います。

庁舎のイメージパースが記載されておりますが、左側が基本設計完了時の原案で、右側が変更案となっております。

原案では、庁舎の東側に大屋根という名称で、3階の屋根を庇状に延ばしたデザインとしておりましたが、この庇の位置を2階上部から出すことによりボリューム感を抑え、周囲とより調和のとれた建物となります。

また、高さを抑えることによりおおやね広場を利用する際にも、雨などの影響が少なくなり、より有効に使用できるようになるなどのメリットが生まれます。

3ページは、おおやね広場付近から見た庁舎のイメージになりますが、原案のほうは、かなりインパクトがあり見上げるかたちになりますが、修正案のほうでは少し落ち着いた感じになっています。また、将来徳川公園のほうに木彫り熊資料館等ができた際には、高さの統一感が生まれることとなります。

4ページをお開きください。こちらは冬期間の落雪対策に関する資料です。

図は変更後の屋根断面になりますが、上部の屋根の庇を小さくして無落雪とし、2階の庇部分にメンテナンスバルコニーを設けて3階部分の雪庇を受け止める構造とすることで、地上を通行する方への落雪を防止することとしています。

また、このバルコニーの設置により、外壁や窓のメンテナンスの際に、足場を設置する必要も無くなり経費の削減につながります。

5ページをお開きください。こちらは設計変更前後のメリット・デメリットの比較表となります。先ほど説明しましたとおり、初期費用及びメンテナンスコストの減が見込まれ、おおやね広場を利用される方もより安心して使っていただくことができます。

6ページをお開きください。こちらは1・2階の平面計画ですが、公民館利用団体との意見交換で出された意見をふまえ、一部見直しを行っております。

まず1階部分ですが、右側の公民館エリアの第1集会室の使い方に関して、おおやね広場との連動プラス、多目的交流スペースとの連動もあったほうがイベントなどでより有効に活用できるとの意見がありまして、当初は壁で仕切る予定でしたが、これをガラスタイプの引き戸として、開放での利用もできる仕様としました。

上段は2階の平面計画ですが、公民館利用団体からは各団体の印刷物や備品を新庁舎移転後も預かっていただきたいとの要望が多数寄せられたことから、物品の預かりをどの程度まで対応するかは社会教育課のほうで検討しているところですが、原案で第6会議室としていたところを備品庫(1)として変更することとしました。

また、エレベーター横の赤枠部分は、印刷物や印刷機を置いておくことができるよう、備品庫②として仕切りと棚板を設置することとしています。

7ページは3階の平面計画になります。こちら公民館利用団体からの意見で、第2集会室と和室の位置を入れ替えることにより、和室とフリースペースの連動利用が可能となるということで、位置関係を逆にしています。

このほかにも、細かい設備に関する要望等、多数いただいておりますので、なるべく意向に沿えるよう検討していく予定です。

説明については、以上となります。よろしくお願いいたします。

○議長（千葉 隆君） それでは今、ご報告がありましたことについて、議員のほうから質疑等を受けてまいりたいと思いますが、何かございませんか。

○議員（三澤公雄君） はい。

○議長（千葉 隆君） 三澤君。

○議員（三澤公雄君） 今日、模型とか置いてもらって説明で業者さんも来てるんですが、そこに入る前にそもそも今回の当初予算の中で議論していた案とは違うものを町長側が頭や腹に持っているながら私たちの質問に答えていたというのが非常に裏切られた感じを持っています。総務費の冒頭で町民への説明会をもう一度求めてるって議論をしていた僕たちの頭の中には、こちらの提案されたこと、6月に町民へ向けて説明されたことについての認識しなかったんです。

でも答弁しているあなた方のほうでは、もうこの案を議会最終日に示すという予定でいたということは、全然違うことを考えていたってことですよ、あの質疑の中でも町民には説明しないと、新たな説明会はしないって、こんなに違う提案を腹や頭の中に持っているながら、そんな答弁があるのかと、振り返ってみても憤りしかありません。何故そんなことになるんだと。町民不在もいいところ、議会不在もいいところではないかと思うんですけれども、まずそれはしっかりと一言なければいけないなって。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） これについてはですね、変更点とか実施設計の中で議会の皆さんにも変更していくと、計画設計でですね、変えていくものは実施設計で変更していくと伝えました。

今、先ほど言ったとおり、住民説明会や議員の皆さんの意見、さらに公民館の利用者の皆さん、さらに私も町内会等々で町民の皆さんから意見をいただいたので、それを設計屋さんに伝えて、設計屋さんが急遽対応して今回この案がいいだろうということで持ってきたので、なるべく早く議員の皆さんにお示ししてですね、意見をいただきながら進めたいという思いで今回提案いたしましたので、別に議会を無視しているわけでもないし、町民の意見も十分に活用しながら実施設計でいかしていくって。

○議員（大久保健一君） それなら予算委員会の前に示せて話でしょ。

○議員（三澤公雄君） そうそう、日程的にそれは可能だったでしょ。

○議長（千葉 隆君） まだ答弁中です。町長。

○町長（岩村克詔君） もういいですよ。

○議長（千葉 隆君） いいですか。

○議員（三澤公雄君） はい。

○議長（千葉 隆君） 三澤君。

○議員（三澤公雄君） 冒頭でね、挨拶でそういうところから始まったので、まったくそこで理解が止まってしまうけど、それであつたら予算審議の前に説明すればいいじゃないですか。定例会の前から議長副議長には相談していたというなら、あなたたちの議会の意見。そして、町民からの意見も含めて、実はこういうところまで考え方が変わってきていると、それを踏まえて6年度の当初予算で審議しましょうってやるのが普通の考え方じゃないですか。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） この実施設計についてはですね、今年度、去年ですね、議会の議決をもらって実施設計に入っていると。これも議会のみなさんに説明したとおり、今年の12月まで実施設計をまとめるということで説明してきました。

それと、予算説明会の前に説明しろというのはですね、予算の変更はですね、今のところしないということで、予算の変更は全く見てないので、予算の変更ではなくて、これはあくまでも議員の皆さんや町民の皆さんの意見を入れながら元々実施設計の中で変更できるものは変更するというのを、予算ってお金に関係しない部分でしっかりと当初予算を守りながら進めるということは話していました。

ただ、私たちも急に意見をまとめて設計屋さんが出てきたので、これは早く議会の皆さんに説明したいということで急遽こうなりました。それは、予算委員会の前のといわれたら私たちも本当にもう数日前、3月5日にこういう案を設計屋さんから示されたので、早急に議員の皆さんに説明しようということで今回全員協議会で説明しているということです。別に議会の軽視したつもりはありませんし、議員の皆さんの意見、さらに町民の意見を反映しながら進めたいと、何よりもやはり役場庁舎ですので、皆さんの意見を相互しながら進めるという基本は変わってない。

ただ、先ほど言ったとおり、どうも物価高騰等々で全体的に予算が上がりそうだとひしひしと感じたので、設計屋さんにはとにかく予算は上げられないぞと強く言っていたので、今回、これであればなんとか行けるんじゃないかということで示されたので議員の皆さんに説明しているということでご理解をいただけたらなと思います。

○議員（三澤公雄君） はい。

○議長（千葉 隆君） 三澤君。

○議員（三澤公雄君） この資料を昨日見せられたときにそういう理解をしようと思いました。当初示されていた、去年とか示されていた予算内に納めるためにはこういう提案も考えたのだろうか、そういう憶測もしましたが、それにしても3月5日に分かっていたという資料が僕らも目にしましたから、それであれば定例会前に示してこの予算審議の中に項目があるわけですから、新庁舎についての。

だから、共通の理解で議論ができたはずなんです。共通の理解がない中であの議論をやっていた、僕らはこっちの案の提案でも町民への理解が足りないからもう一度お願いします、説明会をと。

でも、あなたたちはこっちの提案を定例会後にすることを前提にしていながら、それを伏せてるんです。一般議員は知りませんからね。町長が今職員も含めて複数回説明していますが、全然それ説明になってないです。考えていることが違ってるんですから。なおかつ、この提案をするつもりなのに町民への説明をしないって答弁しているんですよ。改めて町民には説明会をしないと、最終的には出前説明会のかたちをとって説明するとは言いましたが。

だから、何を考えているんだろうかって。町民に理解のまま進んでいいのかって、本当に憤りですよ。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 先ほどから話しているとおり、議会を無視しているわけではありませんし、町民の意見、議会の意見、また町民の意見、皆さんの意見を尊重しながら実施設計の中で予算をオーバーしないように考えて進めているということでもあります。

ただ、その一般質問の中に町民説明会しないのかってことに対しては、今のところ町民の意見を聞きながら変えられるところは変更しながら実施設計を進めているということですので、タイミングがずれたのは大変申し訳なく思っていますが、ただこれもですね、実施設計の中でやっとな町民の意見も聞きながら設計屋さんもなんとか苦慮しながら予算をオーバーしないように、さらに町民の意見や公民館の使われる方の意見を尊重しながら、ある程度まとめてきたということですので、その辺は大変タイミングが悪かったですが、私としてはいち早く議会のほうに説明したいという思いで今回説明しているということを理解していただければと思います。

○議員（三澤公雄君） はい。

○議長（千葉 隆君） 三澤君。

○議員（三澤公雄君） じゃあ、そこにちょっと軸足をずらしたとして、であればこの提案を改めて町民に説明してもらいたいし、そして一案だけ示すのではなくて、コストを下げたこの提案。僕は今まで今更設計なんか変えられないって答えしかもらってませんからね。

だから、こんなデザインまで変えられるなら議会としてはもっとコストを下げるためには飾りのような屋根をとるとかそういったシンプルな提案もできないかだとか。

一方、新幹線駅は住民投票みたいのをしたでしょ、インターネットで。そういったかたちで複数案を町民にも判断してもらって機会を設けるとか、そういったことまで視野に入れるって町民の声を聞いてきたんだと。議会の声も聴いてこういう提案するといっても、一方的に、また一案だけ示すのではなくて、そういったことまで考えられないんだろうかと思いますが。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 先ほど言ったとおり、町民説明会が必要か必要でないかは今のところ必要ないと考えています。我々としては今議会の皆さんに説明しながら、この説明終わった段階で、また広報の中に案を町民の皆さんに示して、そしてまた意見があつたら聞いていくということに変わりはありませんので、ただ我々としてもですね、肯定的に時間も決まっています。

確かに延ばせという話もありますが、ただ延ばしたら延ばすほど物価が上がっていきそうだし、我々としても移転を軸に入れながら話を進めているので、延ばせばいいとはなりません。

ただ、これから議員の皆さんや町民の意見を尊重しながら、実施設計の中で変えられるものは変えらる。ただ、実施設計がある程度進んでしまうと、もう変えられないということでご理解をいただきたいと思っています。

○議員（三澤公雄君） 違う観点からご質問があるから、また改めて質問します。

○議長（千葉 隆君） ほかに。

○議員（倉地清子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 倉地さん。

○議員（倉地清子君） 予算が変わらないからというお話を聞かせていただきましたが、結構何回も新聞に載っていますよね、この原案というか。もっても説明は必要ないんですかね。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） あくまでもですね、この役場庁舎はですね、当初ですね、プロポーザルでデザインを見ながら業者を決定した。そして議員の皆さんも庁舎特別委員会を作っていて、その中で意見をいただきながら、計画設計を前のデザインで確定して実施設計に入ったのが基本です。ただその基本のことはあまり変えないように、コストを考えながら今回のデザインに当初の衣装をあまり変えないように今回決めてきたということでもあります。

やはり当初の計画を尊重してなっているということです。ただ、住民説明会をした上での意見を聞いた上でこういう変更をしてきたということですので、住民の意見を聞いてきたということです。

ただ先ほど三澤議員の一般質問でも、私は町民が集まった中でまた意見を聞いてほしいならそれは私の町政と住民の皆様の時間を調整しながら進めたいと思います。

ただ、先ほど言ったとおり時間の選定もあるので、変えられないところもあるということでもあります。これは計画設計は決めてきますので、その中でかなり変えるというのはもう本当に計画設計も実施設計も無駄になることにはならないように、それと工期を守りながら工事が伸びれば経費がかかっていくということですから、費用の面も考えながら議会に説明したとおり、役場庁舎は進めたいと思っていますので、ご理解をいただきたいと思います。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○議員（佐藤智子君） 私はこれだけデザインが変わってしまったら、もうこれが基本設計という感じになると思うんですね。だから、これだけデザインが変わってしまったらやっぱりこういうふうに変わりましたって町民説明会は必要だと思うんです。それでなかなか町長の考えが変わらない感じですが、一体そのこれまでと同じデザインだったらどれくらいのコスト高になるんですか。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 先ほど話したとおりですね、これは我々や設計屋さんの想定であります。今回の新聞等々でも人件費がどんどん上がるということです。さらに円安も続いているので、その辺はやっぱり材料やコストが上がるだろうということで見通しながらデザインを少し当初の計画設計のですね、先ほど言ったとおり、プロポーザルのデザイン。

さらに、計画設計のデザインを尊重しながらこれに切り替えてきたということでもありますので、これをですね、さきほど言ったとおり議会に説明させていただいて、交互にまた町民の皆さんに示して、その中でまた意見があったらまた聞くということはあると思います。ただ住民説明会の中の意見を尊重したことに今考えてきたとご理解いただきたいと思います。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○議員（佐藤智子君） そしたら、具体的な数字はないということですか。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） この建築はですね、実施設計が決まらないとおおよその積算しかできないのは、これはもうはっきりしているの、実施設計がある程度決まらない限り全体的な金額が出てこない。

ただ、設計屋さんプロですから、その辺は今日は専門の設計屋さんも来ているので、その辺ちょっと私は判断できませんが、設計屋さんから。その辺設計さんに聞いてみてください。

○議員（能登谷正人君） まだいい。

○議長（千葉 隆君） 金額的なことが二本柳さんのほうで分かったら。

○二本柳さん では、設計を担当した二本柳でございます。今日は事務所を代表して参加させていただいております。よろしくお願いいたします。

今の段階ではですね、町長が言うように、最終的な積算が終わらなかつたらきちんとした金額は出てきませんが、我々の今までの経験値の中でですね、今の大屋根が当初案は約15メートル、18メートルくらいの大屋根を見込んでいました。

そこに木を貼ってこうってデザインでしたが、それを2階のほうから出すことによって大屋根に対しての高さが約10メートルに抑えられます、ということで外装部分の工事費について、約10パーセントくらいは減額はできるだろうと。外装工事のほう。

それと、一番重要なのは外壁で木を対応したいということで考えております。そんな中でメンテナンスコストがございます。これは皆さまのお手元の資料の5ページにメンテナンスの足場だとかの画が書いていると思います。ブルーの線が画なんです、そのメンテナンスコストを考えたときの起点や木部のメンテナンス、これは約たかだか18メートルから10メートルになることによって、18パーセント程度のメンテナンスコストの削減ができるだろうということで、建築当初の部分も含めてですね、大幅な要するにメンテナンスコストの削減に繋がっていくということで考えておりました。

それと、一番最初に書いていますが、二段の屋根、二階から庇を出すことによってヒューマンスケール、人のスケールに近い大屋根広場を構成できるということで、デザインのほうも十分考慮して、町側からはいろいろ要望が出ていました。それでなんとか形を当初のデザインを変えずになんとかいいもっとデザイン的に優れたものということでちょっと提案は遅れましたが、3月に提出させていただいたのが現状です。その辺ご理解のほうをよろしくお願いいたします。報告を終わらせていただきます。

○議長（千葉 隆君） いずれにしても具体的なというのは。

ほかに。

○議員（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） 赤井さん。

○議員（赤井睦美君） 予算内で収まるから、デザインが変更しても予算委員会には関係ないって考えですか。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 関係ないってことではなくて、先ほど言ったとおり、5日にこれを提示されたので早急に我々としても議会の皆さんに説明しようということで今回全員協議会を議長さんに

お願いして今回開いたということで、全くよ酸に関係ないと思っていませんのでご理解をいただきたいと思います。

○議員（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） 赤井さん。

○議員（赤井睦美君） この最初のデザインを見せていただいたときに、私はメンテナンスコストがかかるんじゃないかってそんな立派な言葉は使えなかったですが、維持費がかかるんじゃないですかと言ったら大丈夫だと、舗装が10年15年持つから全然かからないって説明されたり、町民説明会は出ていませんが、この大屋根は雪国には合わないんじゃないかって町民の意見もあったのに頑として聞かないって町長がいたって報告を受けていて、町民の人も決まってからこんな報告会してもどうしようもないでしょってふうだったので、私は先ほど町長が、皆さんの意見を聞いて設計変更したんだって、予算内で収まるようにしたって説明でしたが、じゃあ今そういうふうに取り組んでいるってことくらいは図は出さなくても予算内で納めるためにデザインを変更しているってくらいは、やっぱり予算委員会で伝えていただいたほうが私たちも内容が分からないでただ予算賛成したと言ったら、あとからこういうふうに出てきて変わったのって、変わることは削減するために変えたって心は全然反対じゃないですが、やり方ですよ。

変えるんだったら今こうやって検討していますくらいな、そういう説明がないと議会は予算さえ通ったらいいのかと、デザインを変更したのにお前たちなにポーっとしているんだってなるじゃないですか。私たちも議会報告会とかやるときに、あのときいったデザインと違って、町民がいっぱい言ったのにあのときは反対されて、でも結局こうなったのねって、議会はどう見てたのっていったときにデザインは分からないんだけど、一応コスト削減で賛成しましたって、そんな責任の無い答弁はしたくないなって自分の中では思っているの、変更する根拠、コスト削減ね、それは賛成ですが、あと公民館の位置とか、そういうのはいいんだけどやり方ですよ、この出し方。

だから、図ができていなくても予算委員会の前になるべくこの金額でおさえるために、今こういうふうを考えていますって言わなかったら、私たちはこの大屋根の状態のままこれが進むんだなって思っていたからね。そこは、やっぱり卑怯だなって気がします。

それから、庁舎は新幹線駅以上に町民にとってすごく関心のあることで、だからその気持ちを私は大切にしていなくてというのが一番悲しい。残念だなって思います。

だって、新幹線の駅って確かに八雲にできるけど、八雲町のものではなくて機構のもので、庁舎って本当に八雲町のものじゃないですか。だから、これをもっと町民にこんなふうにしたって、だからみんなで一緒に盛り上げていこうではないけれども大切に使っていこう、大切に育てていこうって思いがなかったら、いくら持ち出し少なくとも町民の税金で作るわけだから、わたしはやっぱ町民にとってはすごく失礼なやり方だなって思っています。

だから、予算委員会の前に本当に言ってほしかった。図を出せではなくてこの予算で間に合うように今変更を考えているって、なぜ言えなかったんでしょうか。そこだけお願いします。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） その辺、議員の皆さんから今意見をいただきながら反省をしているところです。当初の赤井議員さんが言っているメンテナンスはですね、先ほど言ったとおり、当初はそん

なに上がるものではないと思っていたけれども、結局は人件費や資材も上がっているということで落とさないといけないと考えたと。

それに先ほど私、町民や議員の皆さんの意見を全く聞かないということではなくて、聞いていますので、その辺は聞いてないって私は聞いてるってことで理解して、瞬間的に私も反対するときもありますが、それはあくまでも瞬間的に出ていることで帰ってから反省をしながら議員の意見はもつともだな、町民の意見ももつともだなということで、もちろん設計屋さんに伝えながらまとめているということです。

赤井議員さんがおっしゃっている、なぜ早くって私はそこまで考えつかなかった。とにかく5日に変更されたものが議員の皆さんや町民の意見も入れたデザインや実施設計に進んできたということで、早めに説明しようって気持ちで来ました。

ただ、今回議員の皆さんの意見を聞くと、やっぱり一回くらい町民説明会をしたほうがいいって意見が多いので、それは持ち帰ってこれは先ほど言ったとおり、私だけ説明したらいろんなことがあるので、設計屋さんも入れながら住民の説明会を検討したいと思っていますので、ご理解をいただきたいと思います。

○議員（関口正博君） はい。

○議長（千葉 隆君） 関口さん。

○議員（関口正博君） 自分はずいぶん、原案にわくわくしていた人間の一人で、同時にもちろん賛否があります。こういうデザインで。それでわくわくしていた町民が居たのも間違えない。

だからこそ、こういうものになるということに対して、きちんとした議論がされたって担保がなかったら、これはいろんな人を裏切ることになると思うんです。これはもちろん批判的なものが多いですよ。それで、いろんなことを勘案してこういうコスト削減も含めてこういうことになったというのは、説明を受けたらそれは僕らもそういうことで納得したり、町民に説明したりできるんだけれども。

一方で、これにわくわくしていた若い子たち、職員も含めてですが、何の事情でそんなふうになるんだってことはやっぱりちゃんと議論されたって担保はやっぱり僕ら議員として必要、それは必要だと思っています。どうか、これからいろんな事業がある中でしっかりとした議論がされて、きちんと議事録があってこういうふうに段取り分で、もちろんそれが町民に分かりやすくするというのが一番なんだけれども、せめて議会にはそういう説明はきちんと都度してほしいというのが本当の思いです。僕は正直言って残念です。見たかった。この建物が。ただいろんな事情でできないならしっかりとしたお知らせはしていただきたいと思います。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 関口議員ですね、私も町民の中に入った中ではこのデザインを、当初のデザインを期待している方々がいたのが確かです。ただ私もですね、はっきりとって今見たの初めて見たようなものですから、この画は見ていましたが、この模型は初めて見て、やっと設計屋さんも急遽まとめてきたということですから、先ほどから議員の皆さんも町民にちゃんと説明したほうがいいって意見が多いので、これは先ほど言ったとおり、議会の説明を終えたあと候補に入れて、さらに町民説明会の検討も行きたいと思っていますので、ご理解をいただきたいと思います。

○議長（千葉 隆君） ほかに。

○議員（斎藤 實君） はい。

○議長（千葉 隆君） 斎藤さん。

○議員（斎藤 實君） 前段でいろいろなご意見がありました。それで、やっぱり議会との関係でいろいろ説明不足というのかな、情報の出し方はやっぱり私も少し変だなって、これは強く申し上げておきたいと思います。

ただその中で、今理事者側が予算内で何とか納めたいということで、こういうことも考えましたということではありますが、ただその案の中にですね、今の町長の言葉であれば急遽こういう案になりましたというお話しでありましたけれども、このほかにある程度案がなかったのかどうなのか、たとえば私はですね、大屋根の部分、これ議員何人かとちょっと話をした中で、これも一つだよなって話はやっぱりありました。

ただ、僕にしたら維持経費、今後の維持経費がどうなのかって部分で非常に疑義があるなという捉え方をしておりました。そこでですね、今この示されている案がありますが、ただ隈研吾さんの関係で、何としてでも八雲の建物は隈さんが設計に一部携わったんだって思いがあるなら、庁舎全部大屋根とってしまった中でですね、庁舎の中でそういうような隈さん独特のデザイン的な構想がなかったのかなって思うんですけども、その辺のこの以外の案はなかったんですか。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） まずですね、斎藤議員ですね、その説明捺し方がまずかったって私も反省しているので、これからしっかりと議会に説明しながら、この庁舎ばかりではなくていろんなことについて説明して進めたいと思いますので、ご理解をいただきたいと思います。

それで今の衣装やプロポーザルで募集したとき私入ってないので、担当者のほうで分かったらよろしく願いいたします。

○議員（赤井睦美君） 今回ですよ。

○議員（斎藤 實君） 今回の。

○議員（赤井睦美君） 今回は二つしか案がなかったんですかって。

○町長（岩村克詔君） 今回なら分かる。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 今回はこのほかにありませんでした。

○議員（安藤辰行君） 期間が短かったからできなかったんでしょ。

○総務課長（竹内友身君） はい。

○議長（千葉 隆君） 総務課長。

○総務課長（竹内友身君） デザインに関わる大きな変更というより屋根の計上というんですか、雪対策、そういったものでの提案はありましたが、大卒今のようなかたちの中での屋根の計上の提案というものでございます。

○議員（斎藤 實君） はい。

○議長（千葉 隆君） 斎藤さん。

○議員（斎藤 實君） 僕やっぱりね。

○二本柳さん 今回ですね、二つの屋根に庇を下に落としたって中で、上の屋根をどのようなかたちで作っていくかは相当我々検討いたしました。隈とも、何度も当初の案を皆さんイメージとして持っている中で、いかにそれを超える案を作らないとならないなど。

その中で今言ったように八雲町という積雪の中ですね、雪の問題だったり雪庇の問題だったりをはっきりとってあまり経験してなくて、それで我々函館にいるという部分の中でその辺の検討を重ねた結果、隈ともこのかたちが一番ベストであろうというものを我々提案したつもりです。

それで、一応道総研とたとえば雪庇だとか風の吹き方も相当吟味した中で、これからまだまだ実施設設計の中で風土実験もしていかなければならない中で、なんとか八雲の町民の方ですね、馴染める優しい建物、それでいてダイナミックな庇を残したいって案がこの案ということで、それを我々としては、町のほうにご提案したという経緯でございます。

それまでは、本当に上にただパラケットを付けて雪を落とさないようなデザインもしてみました。ですが、模型を見ていただければわかると思いますが、佇まいはこのかたちが我々としては一番いいかたちになったと思って提案したつもりですので、その辺ご理解していただけたらと思います。よろしく願いいたします。

○議員（斎藤 實君） はい。

○議長（千葉 隆君） 斎藤さん。

○議員（斎藤 實君） 設計屋さんにもう一回お尋ねしますが、この案でベストだったことで提案されたということではありますが、今私はですね、変えるならやっぱりダイナミックって言葉はどちらかといったら今までの、ん、なんだって捉え方はできるんですが、これに変えたときに、この画を見たときに、これ何ってそういう捉え方しかできなかつたんですよ。

ですから私はですね、隈さんの設計を少しでも残したいってそういう気持ち、私は十二分にあるから、なるほどこれだなんていうものを作るためには室内で入った瞬間に、これ何ってイメージできる。町民が入った瞬間に、これが隈さんの考え方かってそういうイメージがあった庁舎でも変えるなら、そういうところもいいんじゃないかなってことは、やはり北海道はどうやっても先ほど説明したように、雪の問題があるわけですから、その辺のところはですね、考えてほしかったなって、そういう案はどうですか。

○二本柳さん 雪の問題に関しては4ページ目に。それで、北西方面にメンテナンスバルコニーを設けています。それで3階、2階の屋根の部分の積雪、その他のメンテナンス、3階の部分のメンテナンス、それをメンテナンスバルコニーで全てということで、これは建てたあと20年30年、建物のメンテナンスしていくためには重要なバルコニーを設けております。これで、メンテナンスコストを相当下げられます。

それと、今隈とも話をしていますが、ダイナミックな庇のデザインを当初の案で皆さんにお知らせしていると思いますが、大きな庇のダイナミックなデザインは内部空間にもきちんと反映させておりますので、その辺はご心配なく考えていただけたらと思います。

○議員（三澤公雄君） 重ねて、二本柳さんにもう一つ質問したいと思います。

○議長（千葉 隆君） どうぞ。

○議員（三澤公雄君） 二本柳さんがこの案一つを変える案をね、この案一つを役場のほうに提案したんですか、この際だったら本当のことを言ってほしい。僕たち調査して見た資料では5つの案を示したんじゃないんですか。その中で一つに絞ったのは二本柳さん、それとも役場なの。

○議長（千葉 隆君） 最初のプロポーザルの話。

○議員（三澤公雄君） この変更案。5つの案でしたよね、原案って書いたものを含めて、AからEの。

○二本柳さん 先ほど説明しました3階の屋根のかたちですね、それで今は屋根をおろすのと。

○議員（三澤公雄君） 4つか5つ示したんでしょ。それで、4つか5つの案を一つに絞ったのは。

○二本柳さん 実は我々お示しました、その中でやはりデザインの部分、それから将来的なメンテナンスの部分だったり、そういうものを加味した中で我々としては、この案をお示いたしました。

○議員（三澤公雄君） ベストはこれだって提案はしたってことですね。分かりました。

○議長（千葉 隆君） ほかに。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○議員（佐藤智子君） 二本柳さんには大変申し訳ないんですが、私だけじゃないと思うんですけども、大屋根に全然こだわってなくて、これいったら身も蓋もないんですが、（聞き取り不能）平面図なんです。それで点線で大屋根って書いているのが2、3種類出されたんですが、雰囲気的にはこれだけ繋がっていたら雨が降ったときに雨宿りとか雨にあたらないで違うところに行けるなって程度で大屋根がいいんじゃないかってことだったんですね、私はね。

それで、そのあとでバンってこれが出てきて驚いたのが本当なんですが、自分は函館の亀田プラザみたいなシンプルなものでもいいと思ってるんです。こういうのにお金をかけるより、中にカフェを作ってもらってグループとか個別にそこでくつろいで眠ったり本を読んだり勉強したり食べたいものを食べたりってそういう空間があるところのほうが大事だと思うんですね。

だから、もっとシンプルなものもこれからまだやるならシンプルなものを提示してほしいんですね。

○二本柳さん 実は、我々ですね、建築の考え方というのはですね、建築というのは場所に建つという部分で、町中にある建築とやはり今回の八雲町の庁舎というのはですね、横に徳川公園って本当に素晴らしい森が、手つかずの森になっていますが、そこに将来的には図面にも出ていますが、おそらく木彫り熊の資料館やそういうものが佇んでくる場所っていうことを加味すると、町の中にある四角い箱の建物とまたここに建つものは全く違うと思うんですね。八雲のこの場所しかできないデザインを隈と一緒に我々は考えたつもりで。

ですから、この建物を亀田の交流プラザに建てれるかと言ったら絶対に建てられません。今の場所だから建てられるデザインだと思うんです。その辺を理解していただけたら、僕らも隈といつも話しをしているのは八雲町の名称を作りたいって思いでですね、設計をしてくれているつもりなのでその辺理解していただけたらと思います。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○議員（佐藤智子君） 思いは伝わってきますし、分かりますけれども、これまで期間があったのになぜそうできなかったのかって悔やまれますが、やっぱりこういうので行くってかたちで町民に示されてしまったって感が強くてですね、やっぱり先ほども誰か言っていましたが、新幹線の駅みたいな三つくらいの種類のもをシンプルなものも含めてアンケートとるとか投票してもらって

町民に選んでもらうって時間があったほうが、先ほど赤井さんが言っていたように町民の気持ちを大切にすることだと思うんですね、あまりにも町の考え方を押し付けてると思います。

それは二本柳さんがお答えすることではなくて、町長お願いします。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 先ほどから話しているとおり、進め方はですね、私も反省をしながら進めていきます。佐藤議員さんがおっしゃっている計画設計根本から変えたら、私の想定では計画設計の費用、また実施設計の費用は無駄になります。

さらにこれから計画設計をまとめていくと、建築までに5年とか6年かかるような年数になるんじゃないかって想定していますので、確かに説明の仕方が赤井議員さんからもいろいろな議員さんからも私も指摘されているので、その辺大いに反省しながらこれから進めるうえで説明をしっかりとしながらこの案を進めていきたいと思っていますので、ご理解をいただきたいと思います。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○議員（佐藤智子君） 合併特例債も5年延びたことですし、そんなに町民も急がないと思うんですよ。だからこの際だから時間をかけたらどうですか。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） この庁舎のですね、根本的な主な財源というのは合併特例債を使用することで議会に説明しているのです、これもやっと5年延ばしていただいたので、何とか間に合うように設計を進めているということです。

それと先ほど言ったとおり、これから人件費、材料、建築コストが下がってくるって見込はちょっと今のところないってことですから、それは私の想像ですが、莫大に費用がかかるのではないかって想定しているので、それと役場庁舎もこっち側はまだいいですが、古いほうが耐震化も診断もしていませんし、耐震化が出ていないので、やはりこれは計画通り進めていきたいって思いですので、ご理解をいただきたいと思います。

○議員（大久保建一君） はい。

○議長（千葉 隆君） 大久保さん。

○議員（大久保建一君） 町長さきほど進め方がまずかったって言いますが、何人かの議員に指摘されたと言いましたが、私も指摘します。進め方が悪かったんじゃなくて、根本的にまずいです。お金に関わらないからいいべって言うけれども、事業を俺たちは審議しているのであって、いくらかかるだけを審議しているわけではないので、それは根本的にまずいですよ、今回は。私はそう思っているのです。それは言うておきます。

それと質問なんですけど、以前ですね、去年の6月に工事費全般を概算事業費として示されたんです。紙で。それで今10パーセント上がるから当初の予算で間に合うようになってというのが理由なんです。この建設工事費に私たちに示されているのは今のところ建設工事費、庁舎の部分ですよ、そこが50億2千万円、それで開拓工事も入れて66億4千万、そしたらこちらは変わってないってことですか。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長、具体的な数字分からないでしょ。説明してたから予算委員会で。

○庶務交通主幹（吉田正樹君） 議長、庶務交通主幹。

○議長（千葉 隆君） 庶務交通主幹。

○庶務交通主幹（吉田正樹君） 以前ですね、9月に文書でお知らせした事業費から今回予算委員会のときに財源内訳ということで求められた際に私口答で説明したんですが、若干数字が動いています。

理由としては今国立病院の建物全部残っている状態で、令和6年度に解体を予定していますが、実施設計が終わりまして、そちらの解体工事費と見直しがされて若干もとより高くなった部分があります。あと、ZEBに関する基本的な機能の部分でかかる経費が具体的に見えてきたという部分で精査しているところです。そういったところを含めてちょっと元々出していたより金額が増となっている状態です。

○議員（大久保健一君） はい。

○議長（千葉 隆君） 大久保さん。

○議員（大久保健一君） さっきコストの説明をされたときに、いろんなことのコストの絡みで結局こういう大きな変更になりましたって話をしていましたよね。関口君は当初のデザインをととても気に入っていてというか、すごいよなって、こういうのができたらって。私も思っていたんです。隈研吾さんのテイストが感じられる建物も凄いなって。こんなもの八雲にできたらなと思っていたので、町長もこれを考えるときに、これくらいこっちだったらこれくらい削減になりますって。こっちだったらそれくらい高くつくって、もうちょっと町民にも選択させるとか、議員にもその段階で比較させるとかいうことがあったほうがいいと思うし、本来そうすべきだと思うんです。

町の大きな財産をこれから何十年も使っていく財産を決めることなので、時間的制約があったのかどんな制約があったのか分かりませんが、これはあきらかにルール違反だし、今この段階でこういうふうになります。これしかありませんって言われても、ちょっと私判断のしようがないと思うんですね。そういうことは、ちらっとも考えなかったですか。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 実際の話を使うと、私もびっくりしたんです。我々はなんといってもコストをですね、オーバーできないってことは設計屋さんずっと伝えてきたのと、先ほど言ったとおり町民の説明会や公民館の利用者、さらに私も忘年会や新年会、町内会の新年会等々に行って意見を聞いたら、やっぱりコストが上がること。

さらに赤井議員さんからいつも指摘されている維持費が高いっていうのも検討の材料ですし、そして、公民館の利用者の意見を相互すると、ということで我々も設計さんに会うたびにそれをずっと伝えてきて、今回この案が出てきたということで今我々は進めたいということであります。

ただ、このほかに設計さんが考えられる時間とかがあるかどうか私も分かりませんが、ただどっちがいいかってことと二者選択であれば比較はしようがありますので、その辺は議員の皆さんに説明して、また町民にも私もここで話をしているかちょっと分かりませんが、その辺の比較をしたほうがいいというなら、ちょっとどういうふうになるか、多分比較するのであれば二つ、これとこれではなくて三つくらいは必要なのかなって思いはあります。

ただ設計屋さんもおっしゃっているとおり、この案が一番いいと示されたので、町としてもこの案がいいんじゃないかってことで、今議員の皆さんに説明してるということをご理解いただきたいと思います。

○議員（大久保建一君） はい。

○議長（千葉 隆君） 大久保さん。

○議員（大久保建一君） そのような町長がまだ気持ちがあるというのを聞いてちょっと安心しましたが、やっぱり町民の財産なので、町民もやっぱりそれを選択するというか決めるのに少しでも携わる機会があるとなると、またちょっと意識も変わってくると思うので、幸い合併特例債についても期間が延びたってことであれば、そのようなことを進めていただくことを私個人、私は望みますが。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） デザインとかですね、色とかそういうのはまだまだアンケートをもらって決めることはできると思います。それで、先ほど言ったとおり、中も事務所もあれは事務的なものですので、その辺は変更はなかなかできないということでもあります。

だけど、大屋根をこの屋根また先ほど二本柳さんが一点や二点、もう一点くらい示していただいて、住民に示して違いも金額の違いを描くのかいろんなことが想定されますが、それを考えられるのか。ただ今話しをされて考えていますので、ちょっと持ち帰って設計屋さんで相談しながら考えてみたいということをご理解をいただきたいと思います。

○議長（千葉 隆君） 町長、当然議会だってもう一つ案作ってくれてことになる、設計に係る費用は多くなるという追加しないとないつて前提で申し上げます。だって今の設計はこの設計費だけでやっているわけだから。

（何か言う声あり）

○議員（能登谷正人君） だから、最初が一番肝心なんだわ。隠さないで。

○町長（岩村克詔君） 隠してないって。

○議員（能登谷正人君） はい。

○議長（千葉 隆君） 能登谷さん。

○議員（能登谷正人君） 町長に簡単なこと、根本的には大久保君と同じ意見なんです。町長、この建物は誰の建物。

○町長（岩村克詔君） 町民の財産です。

○議員（能登谷正人君） だったらさっきから皆さんが言っているように、町民の皆さんの声をもっと聞くべきなんです。それ確認しておきますよ。我々も聞きます。代表として。ここに来ていますから。

それからもう一つはデザインとかそういうのは確かに良くて、稀に見る役所の建物としたら地方の役所ですよ。としたら、かなり等質的には注目だと思います。そこで、二本柳さんに聞きたいんですけれども、この案はですね、町のほうからこういう建物デザインしてくれてしていったんですか。

○二本柳さん はい。

○議長（千葉 隆君） 二本柳さん、どうぞ。

○二本柳さん 平面的なものはですね、町のほうと基本設計のときにですね、町民説明会もやりまして、それから町の担当からもこういうかたちのものが欲しいということで、これは町のほうから提示いただいてまとめ上げました。それで外観のデザインについては、これは我々設計団としてやはり先ほども言いましたように、今回の庁舎の建つ場所であったり景観であったりというものを意識して。

○議員（能登谷正人君） 時間内から分かりました。

○二本柳さん ただ一つ、模型皆さん見られていると思いますが、おそらく模型は上から皆さん見ているんですね。

○議員（能登谷正人君） 分かったって言ってるのに。

町長ね、この建物の発注者として確かにプロポーザルで決めましたが、その後見てプロの土建屋さん、建築屋さん、いつも町長言ってるけれども、こういうデザインにしてくれとか、ああいうデザインにしてくれって発注者の注文というのはどうしました。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） デザインの注文はしていません。先ほど言っているとおり、これはプロポーザルで決定をして進めてきたということであります。

それと、議会の皆さんの特別委員会の意見も尊重しながら計画設計をまとめて実施設計に入っていると。それで実施設計の中で変更できるものは変更していくってことを言っています。

ただ、順番が間違っていたとかというのはですね、真摯に受け止めながら反省していますが、これからも説明しながらプロポーザル、計画設計、そして今それに基づいた実施設計を進めているということで理解していただきたいと思います。

○議員（能登谷正人君） はい。

○議長（千葉 隆君） 能登谷さん。

○議員（能登谷正人君） 町長いつもね、そうなんですよ。おぼこ荘の件もそれからいろんな大きい事業になると必ずそういう言葉でクルクル回して、トラウトの件なんかも。

だから、そういう町長の言葉には我々慣れちゃってるんです。どう変わっていくのかなって思いはあるんだけど、まして合併特例使うなら、私は熊石の人間ですから少し熊石のほうに来てもこの建物はどんなもんだべって聞くのが筋じゃないですか。

それとね、もう一つは災害用のあそこに建てるのは災害に強い建物ということで、町民はどんどん避難してくる。そのときにこの設計図を見ていると、屋根にだけ集中したって仮に電源が消えた場合はどうなるんですか、ソーラーパネルとかそういうことは非常時の自体を考えたこと、これに設計に入れないんですか。

○議員（関口正博君） 能登谷さん入っているよ。

○議員（能登谷正人君） 場所どこ。

○議員（関口正博君） それは基本設計で示されている。

（何か言う声あり）

○議員（能登谷正人君） じゃあ、そういうのはすみません。資料見ていないので、横とか裏とか建物の上、どこなんですか。

○議員（関口正博君） 各フロアに非常用発電機は、全部ついてますよ。

○議員（能登谷正人君） そうなの。わかりました。失礼しました。

町長がね、プロポーザル決めたからそれでいいっていうわけに。やっぱり町民のものであれば余計町民の皆さんともっと話をしたほうがいいんじゃないですか。急ぐ建物じゃない。ここに立派な建物があるんだから。確かに材料とか人件費は上がりますよ。

でも、今やることにおいて既に上がっているはずなんです。だから、もっと上がるからって言うかもしれませんが、上がったっていいじゃないですか。どこか詰めていけば。

ですから、ちょっと町民との話し合いかがなものでしょうか。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 先ほど話したとおりですね、この計画設計もですね、計画設計に入る前に議員の皆さんの特別委員会を作っていただいてですね、議員の皆さんの意見を文書にさせていただいてですね、それを尊重して計画設計をまとめて提案したと。

それで計画設計が終わって、それで昨年の実設計を通して実設計に入っているということをご理解をいただきたいと思います。

その中で、これから住民に説明できることやそういうことはこれから議員の皆さんの話をお聞きすると、足りないってことでありますので、その辺我々としても町民の説明や広報に入れたりいろんなことをしながら説明していきながら進めたいと思うので、ご理解をいただきたいと思います。

○議員（三澤公雄君） はい。

○議長（千葉 隆君） 三澤さん。

○議員（三澤公雄君） 今の発言をまとめると、住民説明会をします、そして先ほど設計の予算のことも議長から言われたように、かかってもいいから複数案を示すって理解でいいんでしょうか。議員側の意見ってまとめたらそうかなと思って。

○議長（千葉 隆君） 町長がもう一つくらい案がないと言ったから、もう一つは設計の部分で予算確保しないと作れないんじゃないのかなって。当然思うんだけど、今のままでできるならどうぞ。発言を撤回しますか。どうぞ。そういう部分もあるんじゃないか。

○町長（岩村克詔君） 議長さんがおっしゃっているとおり、その設計屋さんと民間でありますのでお金がかかって請求が来ると思います。その辺については設計屋さん話し合いをしていないので、ただ、なるべくは今の予算の中でこの今のところ2点と途中の案もあるので、その辺で選んでもらうとか説明をしてもらうのもありかなって、選んでもらうっていか説明ということではないかと思っております。

ただ三澤議員さんですね、住民説明会の準備をして必ずするということではなくて、考えているということをご理解をいただきたいと思います。

○議員（三澤公雄君） はい。

○議長（千葉 隆君） 三澤さん。

○議員（三澤公雄君） 町長忘れてもらったら困るのは、今日議会最終日で僕等予算案の議決控えてるんです。だから、予算委員会の中では僕らこのことを示されなくて予算審議して13日の時点ではあぁいう結果になったけれども、知らされてない。

だから、あのとおりになると思われたら困るってことで日程を変更してこういう開き方をしているってことを分かってもらわないと。あとから考えて答えを出すんじゃないで、それだったら今日

の日程は終わらないってことなんです。そこを分かってもらわないと、僕ら意地悪でもなんでもなくて、町民ってものの代表者でありそれで今年の予算審議をしたんです。それを決めるって最後の舞台に来てる段階でこういった隠れていたものがあつたら困るから日程変更してる。だから、その解決策として今ここで答えを出すなら、今ここで僕らを納得させないと困ります。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 先ほど言ったとおりですね、実施設計の中で今二つ出てきていますが、その途中の案があるので、その辺を説明しながら丁寧に説明して進めていくってことは今考えていますし、これから先ほど言ったとおり、もしも予算に反映するものであれば、補正ということも考えていかなければならないってことでありますので、慎重にこれから設計屋さんと相談して、また住民説明会をいつ頃やれるとかこんな感じでできる、予算がかからない、かかる等々も、予算がかからなかったら議長、副議長に報告して終わりなのか、また全員協議会を開いてもらうかを含めて、これから検討していきたいと思っていますので、ご理解をいただきたいと思います。

○議員（大久保建一君） 町民説明会はやるのやらないの。それ言ったほうがいい。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 町民説明会はやることで進めていきますので、よろしく願いいたします。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○議員（佐藤智子君） なんかこれまで出されてきたものとその中間の案を出して町民に諮るってことみたいですが、大屋根にこだわってる町民は少ないですから。

○議員（関口正博君） そんなことないですよ。

○議員（佐藤智子君） と思うんです。

○議員（大久保建一君） それ建物の根本のコンセプトだから。

○議員（佐藤智子君） だからやっぱりお金がかかっても仕方がないから。

○議員（大久保建一君） そこまで戻ってしまったら。

○議員（佐藤智子君） シンプルな案も出してほしいって言ってたじゃないですか。

○町長（岩村克詔君） 莫大にお金がかかる。

○議員（佐藤智子君） 今の私の意見に賛成する人は、この中にいるかどうかわからないですけども、あまり今までと変わらないんだつたらという思いがするので言うておきます。

○議員（大久保建一君） はい。

○議長（千葉 隆君） 大久保さん。

○議員（大久保建一君） ちょっとこの際、設計屋さんがいるので聞いてみたいんですが。

○町長（岩村克詔君） 佐藤さんの意見はいいの。

○議員（大久保建一君） いいんじゃない。

こっちのもとの原案が、たとえば構造上問題があるだとか雪庇の問題とか何か問題が多くてこっちになったってことじゃなくてってことなんですか。

○二本柳さん はい。

○議長（千葉 隆君） 二本柳さん。

○二本柳さん 原案に関してですね、構造的な物、その他は全然問題はありません。ただ先ほどもお伝えしていますが、今後のメンテナンスコスト、それから初期の投資コストに対してですね、いかに原案のイメージを踏襲しながらよりヒューマンスケールがいいものにしようということが今回提示した建物のプランでございます。

それで、先ほどちょっと僕お話ししようと思っていたのはですね、皆さんこの模型はですね、上のほうから見られていると思いますが、ほぼ上から見るとはこの建物はないです。近づいてもらってヒューマンスケール、人間の目の高さの位置から見ていただいたら皆さんに一番最初にご提案した原案のイメージと今提案している2階から下ろしたイメージはそんなに変わりません。

逆に、私と隈が話しをしているのは、より人間的なスケール、そのスケールに近くなってたはずまいも落ち着いたものになっているということで、それを我々としたら自信を持って町側に提案をしたというのが現状でございます。

ですから、その辺をもう一度見ていただけたらご理解していただけるかなと思います。よろしくお願いたします。

○議員（大久保健一君） はい。

○議長（千葉 隆君） 大久保さん。

○議員（大久保健一君） 一番最初に出されたときも、考えに考え抜かれて出されたデザインだと思うんです。それで大屋根ってコンセプトがあって、これだけシンプルでいながらカッコいいものができたと思うんです。

こっちはコストの部分は何とかしてほしいということの要望でできた、こちらのなるべく外観を損なわないような妥協って言い方あるかもしれませんが、そういうかたちで私たちは捉えたんですが、そうではないってことですか。

○二本柳さん はい。

○議長（千葉 隆君） 二本柳さん。

○二本柳さん よりですね、原案よりもいい建物にはなっていると我々は思っています。隈とも話をして、前回の大屋根案より落ち着いた庁舎になるということでですね、デザイン的には我々のおすすめ部分ですね、今の改修案のほうがより佇まいも含めていいものになっていると思っています。

○議長（千葉 隆君） ほかに。

○議員（倉地清子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 倉地さん。

○議員（倉地清子君） 今、説明聞かせていただいてもそうだし、いろんな新聞に大きく載った記事を読ませてもらって、そんな思いで作ってくださるんだなって言うのもすごく受け止めていたの、私は賛成というか良くなって思っている一人です。

なので、せつかくこのように時間をとっていただいて説明を聞かせていただいてありがたいと思っています。

ただ、一つこういうことをきちんと町民に知らせる動き方をしなきゃならないし、町長から聞いた報告が町民説明に行ったときに違くなっているというふうにならないようにしてほしいのが私の思いです。

それで、議員に話しているからってだけではなくて、そうであるならば町長と私たちの信頼関係を丁寧に保っていくかたちで持っていかねばならないので、その辺をどう思うか聞かせてください。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 先ほどですね、町民説明会やるということで説明いたしましたので、私も前回の説明には議員の中からもですね、えらい注意を受けましたので反省を本当にしています。なるべく私がしゃべるとおかしくなるので、建物の説明についてはですね、専門家の皆さん、設計屋さんにも説明させていただきながら先ほど議長さんから補正もありだつてことでありますが、私としてはですね、今の予算以内で説明できることを尽くして住民説明会に挑みたいのが私の希望ですから、十分前回の住民説明会は反省しているということでご理解いただきたいと思います。

○議員（斎藤 實君） はい。

○議長（千葉 隆君） 斎藤さん。

○議員（斎藤 實君） それで、副町長にお願いしたいんですが、たとえば流れとしてですね、やはり総体の予算を当初予定したままで抑えたいということでいろいろ内部協議もしたし、設計屋さんとも協議していますよね。ですからこれで来た時点で、これは3月5日、町長部局ももらったんですよ。

○副町長（成田耕治君） そうです。

○議員（斎藤 實君） 先ほどの説明だったら。

ですから、そういう流れを実は今こういうことなんですと、いろいろ設計屋さんとも協議していますということをやっぴり議長と報告しながら出来上がった時点でそしたらどの場面で皆さんに全員協議会で説明したら良いのかとか、そういう点をしっかりと副町長が議長と相談しながらですね、やってもらえたらそんなにそんなに大きい声じゃなくても流れとしてはスムーズに行くと思うんです。

冒頭に三澤議員がおっしゃったように、3月議会の中でこれがないから町長もうやむやの答弁に終わってるのかなってそういう捉え方も我々してるんです。ですから3月定例会の中身の議論が本当に違ってくるんです。これが最初にあつて説明があるんであればね。

だから、そういう部分をしっかりとやはり町長自ら議長のところに行かなくてもいいからさ、そういう流れを副町長が議長と相談しながら議会報告はどうしましょうかとか、いろんな相談を密にしながらですね、進めていかないと、こればかりじゃないんです。いろんなものにあるからね。そこをお願いします。

○議長（千葉 隆君） 斎藤さん、日程を忘れてもたら困りますが、7日の前の日、6日全員協議会やっていますからね、だからそのことをしっかりと受け止めて発言してもらわないと。あつたんだから。6日の日にあつたんだから、全員協議会。だからそこは我々協議するんじゃないで。

○議員（斎藤 實君） だからそういうものも全員協議会開催しているなら前もって議長に相談して。

○議長（千葉 隆君） そのこともこの間の全員協議会で話したでしょ。だからこういうふうにして。

○議員（三澤公雄君） 本会議前にわざと全協を開いて長期見通しとかやったでしょ。その時にはもう知ってるんだから。

○議長（千葉 隆君） そのことも、この間の全協で説明してるから。いいです、そのことは。
(何か言う声あり)

○副町長（成田耕治君） はい。

○議長（千葉 隆君） 副町長。

○副町長（成田耕治君） まずは、私のほうから発言させていただきたいと思います。確かに5日の日に二本柳さんから新たな提案がありました。それで全員協議会、次の日に開催されたあとに、当然その場でこういうようなハウスみたいなのはまだちゃんとしたものはできてなかったんですが、できればその場でこういう議論が二本柳さんから提案がありましたということは当然いべきだったのかなって、本当に申し訳ないと思っています。

それと6日全員協議会が終わったあとに今回こういう提案がありましたというのは、私いつも議長、副議長さんに調整しながら皆様方と全員協議会を開くんですが、その場でこういう議論がありました。仮の資料だから提出させてもらって、そしたらこれをいつの段階で報告するんだということで、そしたら全員協議会 15 日ですよってことで今回こういうかたちで決めさせてもらったんですが、その時点ではこのような皆さんから意見が出るなんてそういう想定は私なくてですね、一日も早く皆さん方に実施設計の中で示されているものをどうやったら早く皆様方にお示しできるかって頭しかなかったものですから、当然今斎藤さんから言われたように、十分、議長さん副議長さんと調整する中でいろんなことを進めてまいりたいと思います。今回は本当に申し訳なく思っています。

○議長（千葉 隆君） ほかに。

○議員（横田喜世志君） はい。

○議長（千葉 隆君） 横田さん。

○議員（横田喜世志君） せっかく二本柳さんがきているので、こういう設計だとか詳しくないんだけど、コストを安く済ますのに単純にね、ど素人が考えると3階を2階にしてしまうとかってというのは、頭にはないんですか。それを全くの別なものになるから駄目になるって話ですか。

○二本柳さん はい。

○議長（千葉 隆君） 二本柳さん。

○二本柳さん 当初ご提案した部分でですね、十分コストが間に合うってかたちの中で我々も基本設計から始めてですね、進めてきたのは事実です。ただ最近の皆さんご存知のとおり、昨年、それから一昨年からのですね、建設の価格の上昇、それからまた4月から働き方改革で、これは建設業にも関わってくる、人件費の高騰等を考えたときに、当初案でベストと我々は思っていました。

それから、もっと知恵を絞って少しでもイニシャルコストの削減、それからメンテナンスコストの削減ができないものかということですね、我々設計団としても考えた中で、当初のイメージは崩さずにもっと落ち着いたヒューマンスケールのいい建物にならないかってことが発想の原点でした。その中で今回提案させていただいた2階からの庇、それで3階には屋根を付けた建物を併ませるってことでですね、2ページ目の見ていただけたらわかると思うんですが、決して第1案よりデザインが悪くなったと我々は思っていない。逆にいうとこのことが功を奏して落ち着いた外観に

なっているということを自信を持って町のほうに提案させてもらったのが事実でございます。その辺ご理解していただけたらと思います。

○議員（横田喜世志君） はい。

○議長（千葉 隆君） 横田さん。

○議員（横田喜世志君） 確かに基本のですね、大屋根でっていうのも私も実現したら八雲としてのシンボリックなものっていうのには反対をしないし、またこういうのが八雲に作れるっていうのも一つの案であると思いましたが、その自分の気持ちの中で庇を2階にして3階をこのかたちの屋根をつけるより大屋根は大屋根として当初の案にはない1階部分に3階の機能を持たせるような、総2階建てでかっこうの大屋根で考えられないものかなって気持ちがあるんです。そうすると3階縦のコストと2階建てのコストで違いができるのかなって素人考えなんですけどそういう部分で。

○二本柳さん はい。

○議長（千葉 隆君） 二本柳さん。

○二本柳さん コストのことからいいますとですね、多くの今平屋になっている部分におそらく3階をやめるとなったら、そちらのほうに持っていくと思いますが、これは建築のメリハリ、全体のコストのメリハリなんですけど、やはり皆さんご存知のとおり平屋というのが一番コストがかかると思っていて、この建物はやはり庁舎ということもあってそれから住民の方も使うということで、いわゆる縦の動線というのは当然2階であってもエレベーターは必要になってくる。階段も必要になってくるという部分の中で、その辺の機能を集中させて3階に上げておくというのは一つは建築コストの削減につながっています。それで、平屋を平屋として作ることによってその他の柱だとかの大きさを小さくできるというメリットが出ていると思います。

ですから、これを2階建てにするというのはですね、動線計画からしてもちょっと無駄が増えるのかなと。それからせつかく町民の皆さんと、それから町の方々と平面のプランの詰めを行って、ほぼほぼ平面的には問題なくまとまってきた案ですから、これをまた崩すとなると全てのことがゼロからやり直しのようなかたちになってしまうので、できれば原案を採用していくのがベストではないかなって気がしております。ご理解のほどよろしく願いいたします。

○議長（千葉 隆君） ほかに。いいですか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） それではまとめもふくめて町長のほうからこの建設の案について町民の説明会をする方向で検討すると。

○町長（岩村克詔君） します。

○議長（千葉 隆君） すると。

それともう一つ、やっぱり多様な町民が居るのも事実。多様性のある。だからそういうときにもう一つ大切なのは住民への説明も大切だけれども、住民参加という部分では、住民に決めてもらうというような姿勢で説明会に挑むのと、これに何が何でもやらないとないというようなかたちで説明する姿勢とは大きく違うのでやっぱりこっちのほうを選んだら外壁のほう1割程度コスト高になると。

でも、こちら側のほうだったらコストの部分、元々全体でのコストがかかるからこっちもやりまじただとか、あとコンセプトや設計は設計屋さんに説明してもらおうけれども、そういうことも含めて皆さんに選んでほしいからこそ説明会やりますって言うような説明の仕方、雰囲気、そういう姿

勢がやっぱりあったほうがいいので、その中で説明会をやらないと、このコストのことがかかってこれしかない、そういうふうな手法をやればやっぱり反発するとか理解をしていただけない人達も出てくるんじゃないかなって思うので、どうせせっかくするというふうに町長のほうで断言していただいたので、そういった町民のほうに選んでもらうって感覚や姿勢でもって説明をしていただきたいなということで集合するかたちで皆さんよろしいですか。

(「はい」という声あり)

○議長(千葉 隆君) そういうことをお願いします。

そういう理解でよろしいですか。

(「はい」という声あり)

○議長(千葉 隆君) 今発言した理解で開催するということがよろしいですか。

(「はい」という声あり)

○議長(千葉 隆君) それでは皆さんよろしいですか。

(「はい」という声あり)

○議長(千葉 隆君) これで全員協議会を終了します。

[閉会 午前 11時45分]